

# 雑がみキャンペーン報告書

## 現状と目的

平成23年度に実施した「一般廃棄物(家庭系ごみ)組成分析調査報告書」によると、燃やすごみの中には16%のリサイクル可能な紙類が含まれており、きちんと分類してごみの減量を促進するため雑がみキャンペーンを実施しました。

## 対象者

前年同期との比較による検証のしやすさと、団体会員への配布のしやすさを考慮し、集団回収登録団体のうち大規模集合住宅の中から数棟を選出しました。

## 実施内容

団体の代表者へこのキャンペーンの趣旨を説明し、了承を得られた団体へ雑がみを入れる封筒、分別方法のチラシ、アンケートはがきを配布し、雑がみの資源回収への協力を依頼しました。

## 実施期間

平成27年10月開始

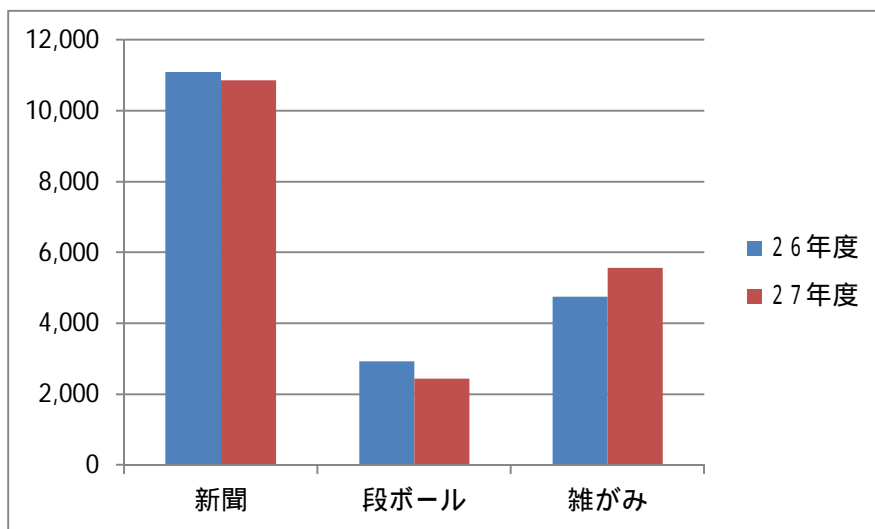
## 結果の検証

奨励金申請書を基に、紙類の回収状況を前年同期と比較し結果の検証をしました。新聞と段ボールの収集量が減少する中で、雑がみだけは前年比117.3%と増加していることから、今回のキャンペーンの効果が立証されました。

## 収集量の比較

(平成27年10月から12月)

	(単位: kg)		
	26年度	27年度	前年比
新聞	11,110	10,870	97.8%
段ボール	2,940	2,440	83.0%
雑がみ	4,750	5,570	117.3%



## 今後の取り組み

アンケートはがきの結果を反映させた分別方法のチラシを作成し、28年度に自治会を通じて回覧します。市内全域で雑がみの分別収集の促進を図ることで、燃やすごみの減量が期待されます。